

遠州鉄道株式会社 介護事業部

# 安全報告書 2023

介護サービス「ラクラス」における安全への取り組み



La-Class

遠鉄の介護サービス  
**ラクラス**

## 遠鉄の介護サービス ラクラス

### 基本理念

すべての人の「心ゆたかに楽しく暮らす」をお手伝いします

私たちは、誰もが安心してご利用いただける「地域になくってはならない存在」を目指し、ご利用者様はもちろんのこと、そのご家族様や関係者の方すべてが心ゆたかに楽しく暮らせるよう、全力をあげてお手伝いしてまいります。

### ラクラス (La-Class) とは

「楽 (安らかで楽しい)」「L u c k (幸運)」という楽しくて幸せな状態を表す言葉と、「暮らす」を掛け合わせて作った造語です。施設の基本理念である『すべての人の「心ゆたかに楽しく暮らす」をお手伝いします』というこの想いを、この言葉に込めています。



ラクラスのロゴは穏やかな印象の植物(葉)を『人』に見立て、『人と人』とが支え合うかたちを作っています。自然と共にお客様の安らかな気持ちを表現。また施設で共に暮らす仲間との楽しさも含まれています。コンセプトの一つでもある『幸運』を星で表現しています。

### 将来のありたいビジョン

～最高の介護品質と地域NO.1の働きやすい職場を目指して～

**熱烈なラクラスファンをつくらう！**

私たちは、具体的に何を目指し、誰のために、何のために働くのでしょうか。働く動機付けは人によって様々ですが、組織としてのラクラスは「熱烈なラクラスファンをつくるために努力する」ことを共通の価値観として掲げています。

### 2023年のありたい姿

**もっと身近な存在に。ずっと頼れる存在に。**



# Contents

- 01 ごあいさつ
- 02 安全に関わる目標の達成状況
- 03 当社の取り組み
  - ・スタッフへの教育・研修の実施
  - ・介護事故の予防・再発防止対策
  - ・ICTを活用した安全への取り組み
  - ・感染症 拡大防止の取り組み
  - ・不適切ケア防止の取り組み
  - ・経営トップによる全施設の巡回点検
- 04 組織体制および指揮命令系統

# 介護事業に関する 安全への取組みについて

遠州鉄道株式会社  
代表取締役社長 丸山 晃司



## ごあいさつ

私たち遠鉄グループは、鉄道やバス等の運輸事業を通じて培われてきた「信頼」を基に、「地域とともに歩む総合生活産業として社会に貢献する」を経営理念として掲げてまいりました。

ラクラスは、介護保険法の精神のもと、2009年に開業し『すべての人の「心ゆたかに楽しく暮らす」をお手伝いします』を基本理念に、高齢者の尊厳を保持し、ご本人様とご家族様が安心して生活できる環境やサービスを提供してまいりました。そして、地域にとってなくてはならない存在となるため、遠州鉄道だからできる「ひとつ上の安心な介護」の提供を目指し、“安全こそが最も重要なサービスである”ことを深く認識し、職員一丸となって法令や規則を遵守してまいりました。

2020年3月より始まった新型コロナウイルスへの対応につきましては、2023年5月8日の第5類 移行に伴い、新たに厚労省が定めた高齢者施設向けの対策に沿って引き続き安全運営してまいります。また、虐待防止への取組みにつきましては、対策指針や教育・研修体制の整備に取り組んでおり、2024年度からの法義務化にも確実に対応してまいります。

また、ご利用者様に安全安心なサービスを提供するために「防ぐべき事故」と「防ぐことが難しい事故」を区別し、防ぐべき事故に対しては、対策（マニュアルの整備・活用、研修、事例の共有、再発防止）を強化することで未然に事故を防いでいき、一方、防ぐことが難しい事故に対しては、被害を最小限に抑えるためのハード・ソフトの両面で対策を講じてまいります。また、事故が発生した場合においても、スピーディーな対応と現場の負担を軽減するための体制を構築してまいります。

本報告書は当社の「介護事業に関する安全への取組み」を皆様に公表させていただき、ラクラスをご利用いただく一助としてご覧いただけたら幸いに存じます。

2023年11月

## 行動原則（安全管理）

～セーフティファースト宣言～

- ・ 予知・予防に努めます
- ・ 感染症予防、対策を行います
- ・ 福祉用具の使用法を守り、点検を行います。
- ・ 防災訓練を行います
- ・ 秘密保持、守秘義務を守ります

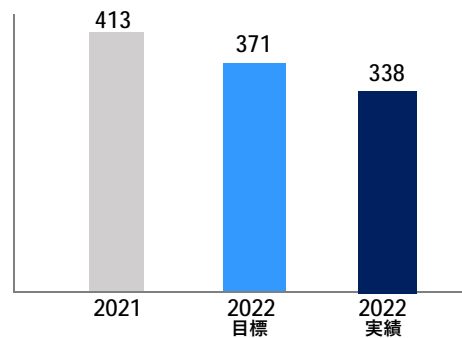
# 介護の安全に関わる目標達成状況

## 介助中の事故

2022年度は、各施設に設置されているリスク委員会が中心となって検証シートの活用、他施設の事故について情報共有を行い、再発防止が出来たことで、事故件数が減少しております。

また、事故の定義を「介助中」の事故に見直したことで、職員の「介助中」に対する意識が今まで以上に向上し、事故件数の減少につながりました。引き続き、安全な施設運営を継続し、皆様から信頼される施設づくりを目指して参ります。

■介助中の事故件数

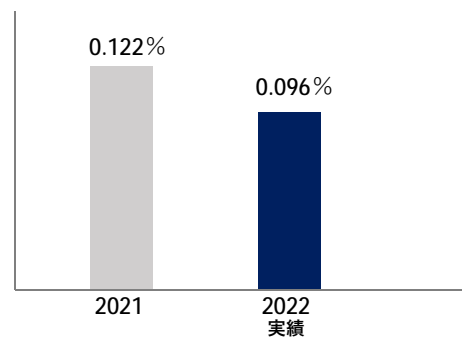


■介助中の事故 分類

	転倒 転落	誤薬 楽薬	誤嚥	誤食	無断 外出	内出血 皮むけ	その他	計
2021年度	79	83	4	38	15	37	157	413
2022年度	53	49	2	39	11	22	162	338
差	-26	-34	-2	+1	-4	-15	+5	-75

■介助中の事故 発生率

	介助中の 事故 A	ご利用者 人数 B	発生率 (A÷B)
2021年度	413	337,486	0.122%
2022年度	338	353,178	0.096%
差	-75	+15,692	-0.026%

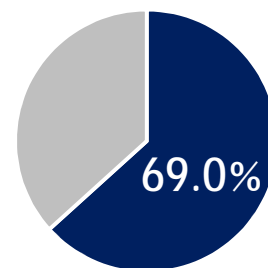


## 安全に関する資格取得者数

■資格者一覧

	人数	前年差
介護福祉士	263	+1
第一種衛生管理者	21	-2
看護師	88	+4

■介護福祉士の割合



■介護福祉士増員のための取り組み

- ・介護職員実務者研修の受講促進と受講料補助  
【2022年度受講者数：24名】
- ・介護福祉士国家試験の社内勉強会の実施  
【2022年度参加者数：15名】

# 安全確保のための スタッフへの教育・研修の実施



## 研修チームによる計画的な研修の実施

### ■ 研修チーム

介護事業管理課長・ラクラス統括マネジャー・レジデンスマネジャー・運営アドバイザー・インストラクター2名によって組織されたチームにより、年間の研修スケジュールにのった研修を実施いたしました。



### ■ 研修の実績（2022年度）

研修	対象者	教育・研修内容	回数／年
臨店指導	各施設 全員	専属インストラクターによる臨店指導 各施設巡回	各施設 1回
新人研修委員会	各施設 教育担当者	新人を育てる人を育成する研修	13回
新卒者研修	新卒者	4月入社の新卒社員の研修	5回
施設長研修	施設長	施設長対象のマネジメント研修	1回
次期施設長研修	リーダー	次期施設長候補を対象に実施	1回
リーダー研修	リーダー	リーダーを対象に実施	1回
次期リーダー研修	中堅社員	次期リーダーを対象に実施	1回
出張研修	各施設全員	各施設へ出張研修 ※テーマは理念研修	各施設 1回
入社2か月後研修	入社2か月者	理念、ホスピタリティ、接遇、認知症等について学ぶ とともに、個々の悩みも参加者で共有。問題解決を図る。	毎月
介護技術研修	介護士	介護技術の専門実技研修	11回
ナース研修	ナース	専門技術ナース研修	9回
機能訓練士研修	機能訓練士	専門技術機能訓練士研修	12回
OJT担当者研修	OJT担当者	介護技術向上と統一化を目標とし実施。実地試験実施後、 合格者は新人指導「OJT委員」として認定。	3回
現任者研修	5年以上勤続者	理念・行動原則・接遇の再確認ほか	9回
外部研修	全員	オンラインによる各種研修	随時

## 「本部研修センター」の開設

### ■ 充実した研修施設

職員（安全）研修強化の為、また最新の福祉機器やICT機器導入の推進拠点として、本部内に研修センターを開設。「介護サービスの質の向上」を目指してまいります。

開設日 : 2023年2月1日

場所 : 浜松市中区元城町 ホテルコンコルド浜松3階

利用用途 : 介護基礎研修、介護トレーニング、福祉機器やDX機器の実証実験



<本部研修センター>



<各種介護ロボットの展示>

## 各施設への指導教育体制

### ■ 研修チームによる臨店指導

研修チーム職員により3か月で全25施設を巡回し、ケアの質の維持、向上できるよう指導を行っています。  
指摘のあった内容について、改善を行っています。  
2023年度からは、臨店評価の結果で優秀だった施設の表彰を行い、いっそうの質の向上を目指してまいります。

【2023年度上期実績】※100P満点での評価

- ・ デイサービス (DS) : 平均93.2P (目標90P)
- ・ 入所施設 (SS・RE) : 平均92.6P (目標90P)

項目	内容	3良 2一部改善 1改善
1 接遇	身だしなみ(ラクスの身だしなみルールの順守) 表情(笑顔で接しているか) あいさつ(心を込めた印象の良い挨拶ができていないか) 態度(相手に優しく穏やかに映る態度で接しているか) 目線や位置、姿勢は適切であるか 言葉遣い(適切な敬語か/指示命令口調でないか、言葉尻等) 話し方(声のスピードやトーン、音量等は適切か) 目配り・気配り・心配りは感じられるか 断えのあったご利用者には快く対応しているか 傾聴・受容・共感の姿勢を見せているか	
2 快適な環境・安全管理	①明るさ・音・空調・換気の整備はされているか ②清掃は細部まで行きわたっているか ③整理整頓は徹底されているか ④プライバシーは守られているか ⑤展示物・掲示物は適切かつ充実しているか ⑥福祉用具等の管理・清潔状況はどうか ⑦危険な箇所等はないか	フロア 居室・静養室 事務所 トイレ 脱衣室 浴室 福祉用具(②、⑥)

<臨店指導項目(一部抜粋)>

## 社員研修「国際福祉機器展2023(H・C・R)」

### ■ 国内最大級の福祉機器展への研修

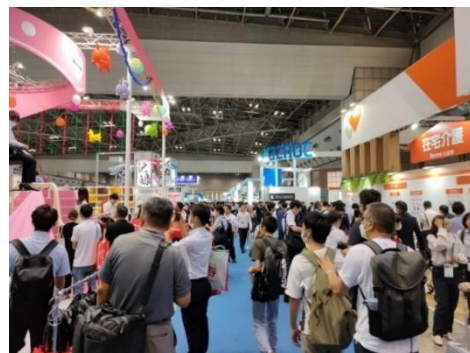
遠州鉄道80周年事業の一環として、ラクス施設職員が参加する研修を実施。幅広い知識の習得、最先端技術を活用した介護ロボットの体験など、最新の関連情報を取得し、現場改善および介護の質の向上の一助としました。

実施日 : 2023年 9/27・28・29

行先 : 「国際福祉機器展2023(H・C・R)」

会場 : 東京国際展示場「東京ビッグサイト」

参加数 : 56名



国際福祉機器展2023の様子



# 介護事故の 予防・再発防止 対策

介護事故の種類別定義を明確にし、事故報告書を作成しております。  
原因の分析、今後の対策を立て、全体で共有することで事故の未然防止、再発防止に取り組んでおります。

## 転倒防止のための対策

ご利用者様の服装、杖等の装備、疾患、服薬、環境、特性等転倒の根本要因を探り、改善することにより、転倒そのものを減らす対策を実施してまいります。

### ラクラスの転倒事故の定義

ご利用者様が転倒をした事実をもって転倒事故と定義しております。外傷や痛みもなく経過観察した場合、または本人・他のご利用者様からの申告だけで、職員が目撃していない場合を含みます。

#### ■ 設備の活用

- ・ 居室内のナースコール
- ・ L字柵
- ・ センサーマット
- ・ 職員のインカムでの情報共有



## 誤薬防止のための対策

介護スタッフのミスの防止と発見ができるよう、ご利用者様の口に入る前に誤りを発見できるような体制と仕組みづくりを実施しております。

### ラクラスの誤薬事故の定義

下記の場合、誤薬事故と定義しております。

- ・ 他人の薬を誤って服用してしまった
- ・ 飲むべき薬を飲まなかった
- ・ 飲むべき薬の処方量を誤って飲んでしまった

#### ■ 薬袋の色分け

薬袋を朝・昼・夕・眠前で色分けを行い、提供時の間違いがおこらないようにしています。

#### ■ 顔写真付きの食札の活用

食札に顔写真を入れ、投薬時のご本人確認を行います



## 誤嚥防止のための対策

### ラクラスの誤嚥事故の定義

食事が喉に詰まり、呼吸困難に陥ったことをもって、誤嚥と定義しております。

#### ■ご利用様が正しい食事姿勢で食事できる介助の実施

安定した姿勢で食事をする

#### ■ご利用様のペースに合わせた正しい食事介助の実施

介護者は、ご利用様の利き手側に座って介助します。まずは水分から口にしていただき、以降ひと口の量やスピードなどご利用様の様子を見て、無理がないようにご利用様のペースに合わせるようにしております。



#### ■ご利用様の状況に合わせて食べ物の形態を変えた食事を提供



ふつう食



きざみ食



ペースト食

## 無断外出（行方不明）防止のための対策

### ラクラスの無断外出（行方不明）事故の定義

認知症等により失見当識のあるご利用者様、または俳諧等の周辺症状があるご利用者様が、本来過ごすフロアや居室から職員が気付かない間に所在不明の場合、または他の場所にいた場合の事故として取り扱います。

#### ■事前情報の共有

可能性のある方の情報共有

#### ■セキュリティー面での防止策

相性番号による扉・エレベータの管理

#### ■見守りによる防止策

介護スタッフによる見守り専門の勤務時間の設定

#### ■迅速で有効な創作体制

緊急連絡網による捜索態勢、外部への協力陽性



セキュリティー扉 06



## 送迎の安全のための取組み

### ■送迎担当者の安全運転教育の実施

デイサービス全16施設に年1回の安全運転研修を実施。  
新規送迎担当者には、先輩社員同乗の下、最低2週間の研修を実施

### ■アルコールチェック

送迎時には、運行の前後にアルコールチェックを実施  
送迎担当者への携帯用アルコールチェッカーの貸与

### ■送迎車両の安全装置

**TOYOTA Safety Sense** を全車両に装着

### ■交通安全運動期間中の安全喚起

交通安全期間中には、安全運転管理者が中心となり、送迎時における注意喚起を実施。

### ■車内置き去り防止への対応

到着後に送迎車内を確認し、全員が降車した事を確認のうえ  
「車内確認済」札を車両のフロント部へ掲出



アルコールチェックの様子



交通安全運動期間中の様子



降ろし忘れ札

## 定期的な防災訓練の実施

### ■地震・火災防災訓練

「消防計画」に基づき、全施設にて、年2回実施

### ■水害訓練

「洪水時の避難確保計画」に基づき年1回実施  
対象施設：上島、中島、西美蘭、西ヶ崎、原島、笠井、  
福田、掛塚、豊橋南汐田

### ■土砂災害訓練

「土砂災害時の避難確保計画」に基づき年1回実施  
対象施設：見付

### ■地域防災訓練への参加

見付：総合防災訓練への参加  
可睡：町内防災会議への参加



災害訓練の様子



## 事業継続計画（BCP）の整備

自然災害や事故によって「重要な業務」が中断しないように、また中断してしまった場合に、早急に事業を再開できるよう、随時、修正改善を実施していく

### ■自然災害（地震・水害）時のBCPの修正

### ■感染症BCPの作成

<p>新編 令和4年1月1日現在 改訂 令和4年1月1日現在</p> <p>新型コロナウイルス感染症 発生時対応事業継続計画</p> <p>BCP</p> <p>遠州鉄道株式会社 介護事業部</p>	<p>目次</p> <p>1 基本方針 3</p> <p>2 危機管理方針 3</p> <p>3 2次対策（感染発生時対応）の概要 3</p> <p>4 感染発生時の対応 3</p> <p>5 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>6 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>7 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>8 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>9 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>10 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>11 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>12 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>13 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>14 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>15 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p> <p>16 感染発生時の対応（感染発生時）の概要 4</p>
---	--

BCP

## 災害備蓄品の準備

### ■施設での備蓄内容

施設では、**3日間の生活**を想定した備蓄をしており、備蓄状態の確認を年2回実施しています。

主な災害備蓄品：水、リゾット、カセットコンロ、簡易トイレ、懐中電灯



## 職員が働きやすく安全な 職場作りへの取り組み

### 職員の熱中症対策

#### ■ PCMクーラー

ラクラス全施設で、首元から涼しくできるPCMクーラーを導入し、現場職員の暑さ対策を施しています。特に入浴介助中は、浴室の暑さや介助で体を動かすため非常に暑い状況で職員に負担がかかっていましたが、体が首元から涼しくなり、介助中の暑さが軽減され職員の熱中症予防に役立っています。



### 身体的負担軽減による安全な職場作り

#### ■ 移乗支援ロボット（移動式リフト・スリングシート）の導入

「移乗支援ロボット（移動式リフト・スリングシート）」を2022年度から1施設に導入しました。移動式リフト・スリングシートとは、主に車椅子からの移乗介助を安全にサポートしてくれる移乗支援ロボットです。職員の身体的負担軽減に役立っています。

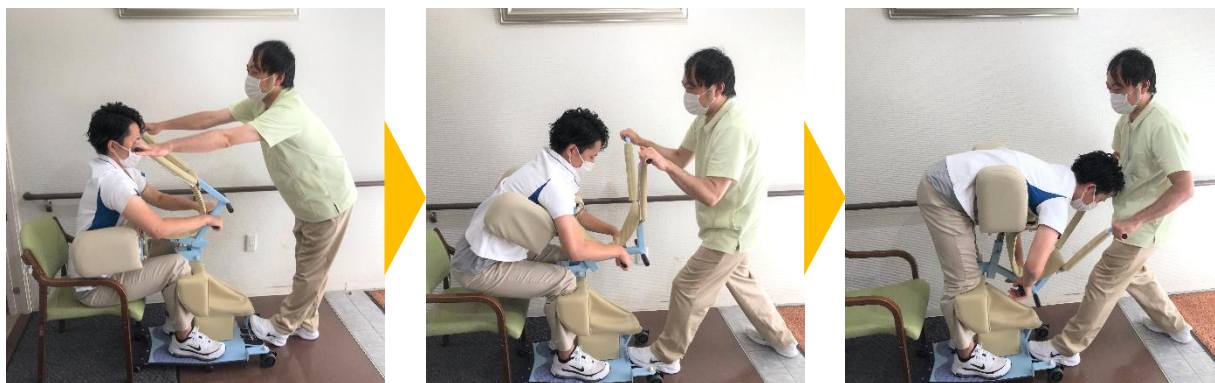


車椅子からの移乗介助が移乗支援ロボットに置き代わり、職員の腰への負担が大幅に軽減されました。あわせてご利用者様からも移乗時の安定性について評価をいただいております。

## 身体的負担軽減による安全な職場作り

### ■ 移乗支援ロボット（ささえ手）の導入

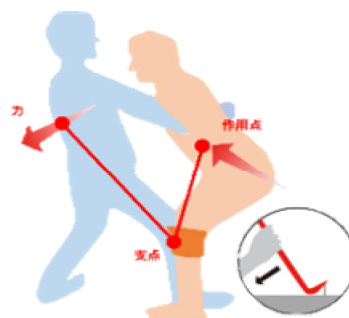
「移乗支援ロボット（ささえ手）」を2022年度から4施設に導入しました。  
ささえ手とは、トイレや脱衣所での立位保持と移乗を安全にサポートしてくれる、移乗支援ロボットです。  
職員の身体的負担軽減に役立っています。



立ち上がり動作や立位保持の介助が移乗支援ロボットに置き代わり、  
職員の腰への負担が大幅に軽減されました。  
合わせてご利用者様からも立位の安定性について評価をいただいております。

### ■ 移乗用補助具（ピーヴォ）の導入

「移乗補助具（ピーヴォ）」を2023年度から全てのレジデンスに導入しました。  
移乗介助の際に対象者の膝下にピーヴォを装着して使用します。布を巻くだけの手軽さで、職員の腰痛対策に役立ちます。



従来よりも小さな力で移乗介助が行えるため、余裕のある安心・安全な介助につながっています。

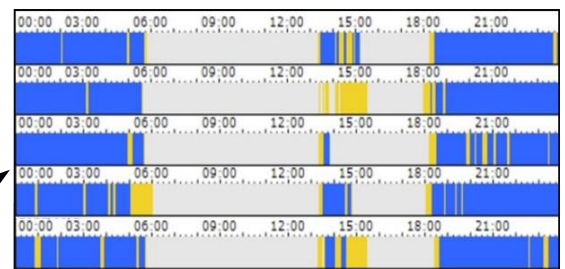
# ICTを活用した安全への取組み



## 見守りセンサー（眠りスキャン）の活用

### ■ 眠りスキャン

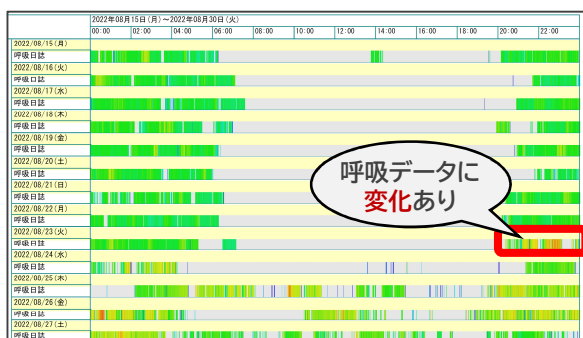
ラクラスでは、レジデンス5施設、ショートステイ4施設のすべての居室に「眠りスキャン」を設置しています。眠りスキャンとは、マットレスの下に敷いて人の体動を捉えることで、睡眠状態に加え、起き上がりや離床を把握できる仕組みで、居室内での転倒防止や睡眠状態の把握に役立っています。また、職員は訪室しなくても状況が把握できるようになり、体力的な負担が減少したことで、より安全に介護業務に専念することができています。



### ■ 眠りスキャンの活用

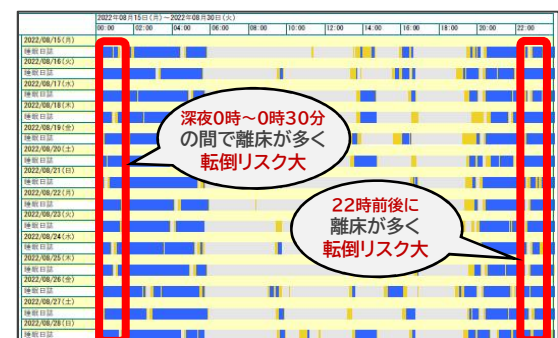
眠りスキャンでは、利用者様の生活リズムを把握して、一人ひとりに合わせたサービスを提供できるようになります。また、ご利用者様の呼吸数、心拍数の長期的変動を日誌として一覧できるため、体調の変化に日誌から気づくことも可能となります。夜勤者が、夜間帯の呼吸状態を見て、普段と違う兆候がある場合には、翌日に看護師や医師へ報告する仕組みを2023年4月からレジデンス5施設にて運用しております。

#### 【呼吸データの活用（A様）】



正常 → 異常  
発熱、体調不良、感染症の兆候を早期発見

#### 【睡眠中の体動データの活用（B様）】



ご入居者様の睡眠の特性を分析し、夜間の転倒リスクを事前に予見、見廻りを実施してリスクを最小限に

## バイタル記録の自動化

### ■ 体温計・血圧計と介護記録システムとの自動連携

従来は、バイタルの測定結果を紙にメモをし、それをタブレットに入力し、介護記録ソフトに送信していました。今回、Bluetooth対応の体温計と血圧計を導入することで、自動で測定値を介護記録と連携ができるようになり、転記ミス等がなくなりました。



### ■ Bluetooth連携（イメージ）



専用のバイタル測定機器と  
介護記録システムを連携



## 送迎支援システム（らくぴた送迎）の導入

### ■ らくぴた送迎とは

らくぴた送迎とは、軽福祉車両シェアNo.1のダイハツが全国3万施設の声を聞いて開発した送迎支援システムです。

### ■ 誰でも簡単に最適な送迎計画が可能

らくぴた送迎の導入により、誰でも簡単な作業で送迎計画を作ることができるようになり、送迎のルートや到着時間の設定など、安全に配慮された送迎計画が自動で作成されます。

### ■ 送迎中の運転手と施設との相互連携が可能

送迎中は、PCで動態管理が可能。ご利用者様からの到着時間の問合せや施設への到着時間の確認に活用しています。

### ■ 専用モバイルで安心送迎

送迎中はGoogleマップがご利用者宅まで正確にナビ。また、ご利用者情報から外観も確認でき、はじめてハンドルを握る職員も安心して送迎できます。

送迎の度に「出発」「到着」を記録することで更に送迎計画を正確にアップデートするAI機能も搭載。



送迎情報 地図連携





# 感染症 拡大防止の取組み

## 感染防止に向けた取組み

### ■ 施設等における取組み

- ・発熱、風邪症状がある場合には、利用を制限させていただく場合があります
- ・新型コロナウイルスの第5類移行に伴いマスク着用は個人判断となりましたが、国の推奨に従いラクラス施設内でご利用者様と接する際は、職員のマスク着用を実施しております（入浴介助中を除く）
- ・施設の共用部分の消毒、清掃を定期的実施します
- ・定期的な換気を実施します
- ・感染症に対する研修を年2回実施します

### ■ 従業員の取組み

- ・37.5℃以上の発熱がある場合には、48時間は出勤をいたしません
- ・施設で働くスタッフは、全員がマスクを着用し、
- ・こまめな手洗いと手指消毒を実施いたします

## 皆様へのお願い

### ■ ラクラス利用時のお願い

施設では、上記のとおり感染対策を徹底し、できる限りの感染予防に努めた上でサービス提供してまいります。デイサービスおよびショートステイにおいては、施設以外での防ぎようのない市中感染や無症状の方も利用される可能性があることから、「当社サービスとの因果関係の有無を含めた感染リスク」があることを何卒ご理解いただいた上で、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

### ■ 感染者が発生した場合の対応

- ・デイサービスおよびショートステイにおいては、翌日以降の営業を中止する場合があります。
- ・レジデンスおよびショートステイにおいては、入居者様の体調の再確認をさせていただくとともに、一定期間の個室対応をさせていただく場合があります。
- ・ショートステイご利用中に発熱された場合には「発熱原因の特定と治療のために受診していただきたい旨」を丁寧に説明し、原則としてご家族様の協力のもと受診していただきます。夜間帯及びやむをえない場合は、施設内で療養していただき、ご家族様と翌日以降の受診などのご相談をさせていただきます。受診の結果、感染症の場合は、ご家族様の合意を得た上で、ご自宅での療養をお願いします。但し、受診後すぐの自宅療養が困難な場合は、ご自宅での受け入れ体制が整う迄の間、施設内で療養していただく等、できる限りの対応を致します。特に、長期利用の方については利用実態やご家族様の事情等を勘案し対応を致します。

### ■ 感染者発生時の状況報告について

行政機関とも報告の範囲と方法について確認し、「10人以上の感染が確認された場合」を基本的な報告基準といたします。したがいまして、利用者様すべての感染情報については、報告を差し控えさせていただきます。また、職員の感染状況につきましても、同様の報告基準にて対応致します。

# 不適切ケア防止への取組み



## 高齢者虐待防止に向けた取組み

### ■ 虐待防止アンケートの実施

ラクラスでは高齢者虐待防止に向けて、ご利用者やご家族が辛い、悲しいと思われる「不適切ケア」を防止するために、職員に対し年2回「虐待防止アンケート」を実施しています。アンケート結果から、幹部職員より面談を行い職員の現状の把握や不安を取り除けるようにしています。

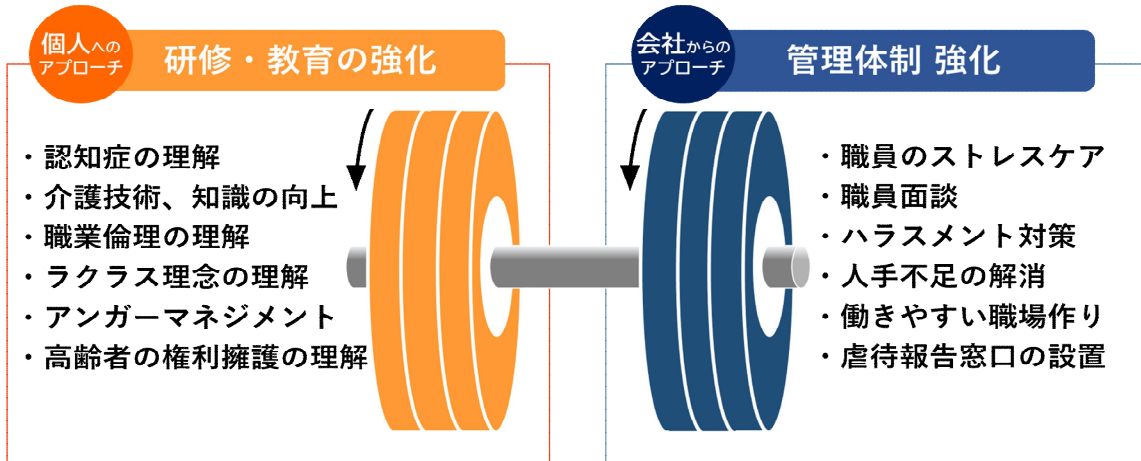
また、各施設にて全体で取り組むアクションプランの作成や、全職員に対しての研修を行い「虐待の芽」を摘み取る対策の検討、実施、評価を行っています。

具体的には、認知症の理解等の研修・教育を強化する「個人へのアプローチ」と、職員へのストレスケア等の管理体制を強化する「会社からのアプローチ」の両輪で、虐待防止に取り組んでまいります。

【不適切ケア（虐待）の発生要因】

内容	件数	割合 (%)
教育・知識・介護技術等に関する問題	415件	56.2
職員のストレスや感情コントロールの問題	169件	22.9
虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ、管理体制等	159件	21.5
倫理観や理念の欠如	94件	12.7
人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ	71件	9.6
虐待を行った職員の性格や資質の問題	55件	7.4
その他	19件	2.6

R3.養介護施設従事者等による高齢者虐待についての対応状況等厚生労働省



## 不適切ケア通報窓口の設置

**上司などに相談できない悩み事、相談事**

**職場の悩み事、相談事**

**ご自身に関することや家族のこと、暮らしに関すること**

**コンプライアンス違反に関することを見たり聞いたこと**

**A ころころ暮らしのほっとライン**

日々感じているストレスや仕事・人間関係の悩みはもたらさん、ご自身の健康問題や家族のこと、金銭問題といったプライベートな問題まで気軽に相談してください。

TEL: **0120-084122**

WEB: <https://www.sjal-soudan.jp/qa/lettsu-aag/>

TEL: **0120-556108**

**B 企業倫理ホットライン**

職場内での法令違反・規程違反・不正行為などを見かけたり、悪知を持って通報・相談してください。

TEL: **0120-150315**

FAX: **0120-095006**

WEB: <https://www.sjal-soudan.jp/lettsu/>

## ストレスチェックの実施

保健事業部 ストレスチェック個人用レポート

あなたのストレスの状況は全体にはあまり高くありません。ストレス反応とストレスの原因となる因子で特に高い項目はみられませんでした。

全国のデータからの評価の見方 (左側)

評価	ストレスの程度
A	高い
B	やや高い
C	問題は見つかりませんでした

事業場別のデータからの評価の見方 (右側)

評価	ストレスの程度
★★	事業場内で比較的高い
★	事業場内でやや高い
○	問題は見つかりませんでした

あなたのストレス度合い

項目	評価点(合計)	高ストレス ←	→ 低ストレス
ストレスの原因と考えられる因子	35点	最大 45点	最小 25点
ストレスによっておこる心身の反応	23点	最大 30点	最小 15点
周囲のサポート	14点	最大 20点	最小 8点
合計	72点	最大 85点	最小 48点

外部機関（聖隷）による1回/年の実施  
高ストレス状態にある職員を把握





# 経営トップによる 全施設の巡回点検

## 施設巡回

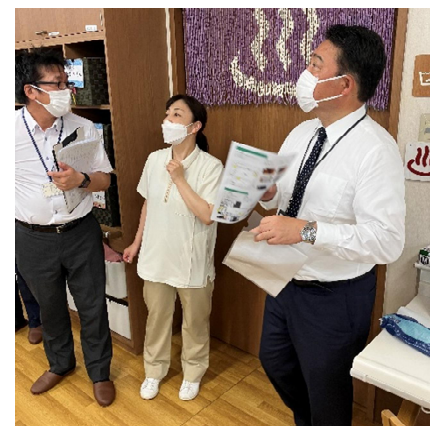
### ■ 実施日と巡回点検実施者

- ・ 実施日：2023年8月3日・7日・8日
- ・ 巡回点検実施者：取締役社長 丸山晃司、グループ経営推進本部長 野村和徳

### ■ 施設運営に必要な常勤職員数の点検（巡回点検当日）

※職員数は常勤換算

施設名	定員	利用者数	必要職員数※	勤務職員数※	判定
上島デイサービス	67名	56名	9.2名	10.1名	○
可睡の杜デイサービス	60名	55名	9名	9.2名	○
富塚デイサービス	47名	45名	7名	8.9名	○
中島デイサービス	48名	42名	6.4名	7名	○
西美茵デイサービス	50名	45名	7名	7.6名	○
見付デイサービス	62名	56名	9.2名	9.6名	○
掛川デイサービス	55名	52名	8.4名	9.5名	○
葵西デイサービス	50名	37名	5.4名	6名	○
福田デイサービス	45名	36名	5.2名	6.6名	○
豊橋西幸デイサービス	52名	43名	6.6名	8.3名	○
志都呂デイサービス	48名	41名	6.2名	7.6名	○
掛塚デイサービス	45名	40名	6名	7.2名	○
西ヶ崎デイサービス	50名	45名	7名	8.1名	○
原島デイサービス	40名	38名	5.6名	6.5名	○
笠井デイサービス	47名	40名	6名	6.9名	○
上島ショートステイ	43名	43名	14.3名	21名	○
見付ショートステイ	50名	41名	16.7名	23.7名	○
豊橋西幸ショートステイ	20名	19名	6.7名	11.1名	○
豊橋南汐田ショートステイ	50名	50名	16.7名	21.2名	○



経営トップによる安全指摘事項と改善後の状況



施設名	ラクラス可睡の杜レジデンス	
指摘事項	廊下天井のカビ（安全衛生）	
対応策	清掃によるカビの除去	
	改善前	改善後
		



施設名	ラクラス可睡の杜	
指摘事項	樹木の成長による害虫等の発生の危険性（害虫予防）	
対応策	樹木の剪定	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス中島デイサービス	
指摘事項	扉の故障（安全衛生）	
対応策	戸車交換による修繕	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス中島デイサービス	
指摘事項	女子トイレの安全な出入り（安全衛生）	
対応策	手摺りの設置	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス富塚デイサービス	
指摘事項	浴室床のカビ汚れ（安全衛生）	
対応策	高圧洗浄と薬剤散布によるカビの除去	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス富塚デイサービス	
指摘事項	柱の角部の破損（安全衛生）	
対応策	コーナーガードの設置	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス富塚デイサービス	
指摘事項	シャワーチェアのカビ汚れ（安全衛生）	
対応策	シャワーチェアの交換	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス富塚デイサービス	
指摘事項	雑草の成長による害虫等の発生の危険性（害虫予防）	
対応策	除草清掃	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス南汐田ショートステイ	
指摘事項	浴室内エフロ汚れ（安全衛生）	
対応策	清掃によるエフロ除去	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス豊橋西幸	
指摘事項	樹木の成長による害虫等の発生の危険性（害虫予防）、視認性の確保（事故防止）	
対応策	樹木の剪定	
	改善前	改善後
		

# 介護の安全に関する組織体制および指揮命令系統

